

## 子ども虐待による死亡事例等の検証結果等について（第7次報告）

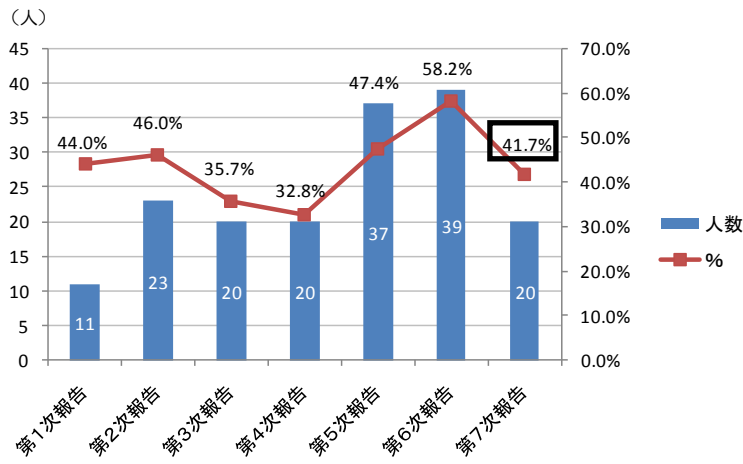
### < 正誤表 >

現在ホームページに掲載している第7次報告は、修正後の内容に差し替えて再掲載しております。

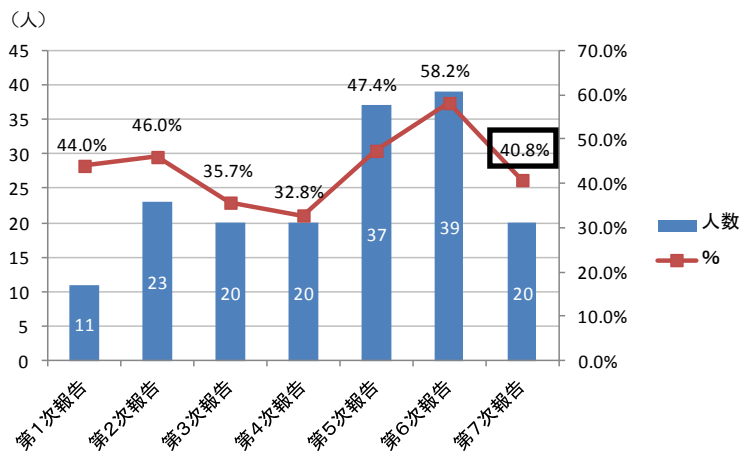
### 【全体版】

P. 34

図1 0歳児の死亡人数と割合の推移（虐待死）  
（誤）



（正）



P. 38

(誤)

(3) 実母・家族の状況

実母の婚姻関係は、日齢0日では配偶者・パートナー「なし」が39.0%（有効割合）と約4割であり、月齢0か月では「あり」が87.5%（同）であった。

(正)

(3) 実母・家族の状況

実母の婚姻関係は、日齢0日では配偶者・パートナー「あり」が39.0%（有効割合）と約4割であり、月齢0か月では「あり」が87.5%（同）であった。

P. 123

表10-1 養育者（実母）の心理的・精神的問題（虐待死）

(誤)

区分	第3次 (41例)		第4次 (52例)		第5次 (73例)		第6次 (63例)		第7次 (44例)		総数
	例数	構成割合	例数	構成割合	例数	構成割合	例数	構成割合	例数	構成割合	
育児不安	12	29.3%	14	26.9%	19	26.0%	16	25.4%	11	25.0%	72
マタニティーブルー	2	4.9%	0	0.0%	4	5.5%	1	1.6%	0	0.0%	5
産後うつ			1	1.9%	3	4.1%	2	3.2%	2	4.5%	8
知的障害	2	4.9%	0	0.0%	3	4.1%	2	3.2%	2	4.5%	9
精神疾患 (医師の診断によるもの)	3	7.3%	7	13.5%	8	11.0%	2	3.2%	2	4.5%	22
身体障害	1	2.4%	0	0.0%	0	0.0%	2	3.2%	0	0.0%	3
その他の障害	0	0.0%	0	0.0%	1	1.4%	0	0.0%	1	2.3%	2
アルコール依存	0	0.0%	0	0.0%	1	1.4%	5	7.9%	1	2.3%	7
薬物依存	0	0.0%	0	0.0%	8	11.0%	0	0.0%	0	0.0%	8
衝動性	5	12.2%	5	9.6%	7	9.6%	8	12.7%	6	13.6%	31
攻撃性	2	4.9%	5	9.6%	7	9.6%	6	9.5%	6	13.6%	26
怒りのコントロール不全	7	17.1%	4	7.7%	8	11.0%	7	11.1%	6	13.6%	32
うつ状態	6	14.6%	9	17.3%	8	11.0%	3	4.8%	4	9.1%	30
躁状態	1	2.4%	0	0.0%	2	2.7%	0	0.0%	0	0.0%	3
感情の起伏が激しい	4	9.8%	4	7.7%	9	12.3%	5	7.9%	4	9.1%	26
高い依存性	6	14.6%	6	11.5%	3	4.1%	2	3.2%	3	6.8%	20
幻覚	1	2.4%	1	1.9%	2	2.7%	0	0.0%	1	2.3%	5
妄想	2	4.9%	1	1.9%	1	1.4%	1	1.6%	1	2.3%	6
DVを受けている	2	4.9%	4	7.7%	4	5.5%	6	9.5%	6	13.6%	22
DVを行っている	0	0.0%	0	0.0%	1	1.4%	0	0.0%	0	0.0%	1
自殺未遂の既往	3	7.3%	1	1.9%	1	1.4%	1	1.6%	3	6.8%	9
養育能力の低さ	9	22.0%	20	38.5%	18	24.7%	10	15.9%	13	29.5%	70

(正)

区分	第3次 (41例)		第4次 (52例)		第5次 (73例)		第6次 (63例)		第7次 (44例)		総数
	例数	構成割合	例数	構成割合	例数	構成割合	例数	構成割合	例数	構成割合	
育児不安	12	29.3%	14	26.9%	19	26.0%	16	25.4%	11	25.0%	72
マタニティーブルーズ	2	4.9%	0	0.0%	4	5.5%	1	1.6%	0	0.0%	5
産後うつ			1	1.9%	3	4.1%	2	3.2%	2	4.5%	8
知的障害	2	4.9%	0	0.0%	3	4.1%	2	3.2%	2	4.5%	9
精神疾患 (医師の診断によるもの)	3	7.3%	7	13.5%	8	11.0%	2	3.2%	2	4.5%	22
身体障害	1	2.4%	0	0.0%	0	0.0%	2	3.2%	0	0.0%	3
その他の障害	0	0.0%	0	0.0%	1	1.4%	0	0.0%	1	2.3%	2
アルコール依存	0	0.0%	0	0.0%	1	1.4%	5	7.9%	1	2.3%	7
薬物依存	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0
衝動性	5	12.2%	5	9.6%	8	11.0%	8	12.7%	6	13.6%	32
攻撃性	2	4.9%	5	9.6%	7	9.6%	6	9.5%	6	13.6%	26
怒りのコントロール不全	7	17.1%	4	7.7%	8	11.0%	7	11.1%	6	13.6%	32
うつ状態	6	14.6%	9	17.3%	8	11.0%	3	4.8%	4	9.1%	30
躁状態	1	2.4%	0	0.0%	2	2.7%	0	0.0%	0	0.0%	3
感情の起伏が激しい	4	9.8%	4	7.7%	9	12.3%	5	7.9%	4	9.1%	26
高い依存性	6	14.6%	6	11.5%	3	4.1%	2	3.2%	3	6.8%	20
幻覚	1	2.4%	1	1.9%	2	2.7%	0	0.0%	1	2.3%	5
妄想	2	4.9%	1	1.9%	1	1.4%	1	1.6%	1	2.3%	6
DVを受けている	2	4.9%	4	7.7%	4	5.5%	6	9.5%	6	13.6%	22
DVを行っている	0	0.0%	0	0.0%	1	1.4%	0	0.0%	0	0.0%	1
自殺未遂の既往	3	7.3%	1	1.9%	1	1.4%	1	1.6%	3	6.8%	9
養育能力の低さ	9	22.0%	20	38.5%	18	24.7%	10	15.9%	13	29.5%	70

P. 125

表 1 1 - 1 児童相談所及び関係機関の関与 (虐待死)

(誤)

区分	第1次(24例)	第2次(48例)	第3次(51例)	第4次(52例)	第5次(73例)	第6次(64例)	第7次(47例)	総数
	例数/構成割合	例数/構成割合	例数/構成割合	例数/構成割合	例数/構成割合	例数/構成割合	例数/構成割合	
児童相談所が関わっていた事例 (虐待以外の養護相談などで関わっていた事例を含む)	12	14	10	12	15	7	12	82
	50.0%	29.2%	19.6%	23.1%	20.5%	10.9%	25.5%	
関係機関が虐待や虐待の可能性を認識していたが、児童相談所が関わっていなかった事例	3	3	1	4	6	6	4	27
	12.5%	6.2%	2.0%	7.7%	8.2%	9.4%	8.5%	
関係機関との接点はあったが、虐待や虐待の可能性を認識していなかった事例	6	13	23	24	22	22	16	126
	25.0%	27.1%	45.2%	46.2%	46.2%	34.4%	34.0%	
関係機関と全く接点を持ちえなかった事例	3	18	12	6	13	14	11	77
	12.5%	37.5%	23.5%	11.5%	17.8%	21.9%	23.4%	
関係機関の関与不明	0	0	5	6	17	15	4	47
	0.0%	0.0%	9.8%	11.5%	23.3%	23.4%	8.5%	

(正)

区分	第1次(24例)	第2次(48例)	第3次(51例)	第4次(52例)	第5次(73例)	第6次(64例)	第7次(47例)	総数
	例数/構成割合	例数/構成割合	例数/構成割合	例数/構成割合	例数/構成割合	例数/構成割合	例数/構成割合	
児童相談所が関わっていた事例 (虐待以外の養護相談などで関わっていた事例を含む)	12	14	10	12	15	7	12	82
	50.0%	29.2%	19.6%	23.1%	20.5%	10.9%	25.5%	
関係機関が虐待や虐待の可能性を認識していたが、児童相談所が関わっていなかった事例	3	3	1	4	6	6	4	27
	12.5%	6.2%	2.0%	7.7%	8.2%	9.4%	8.5%	
関係機関との接点はあったが、虐待や虐待の可能性を認識していなかった事例	6	13	23	24	22	22	16	126
	25.0%	27.1%	45.2%	46.2%	30.1%	34.4%	34.0%	
関係機関と全く接点を持ちえなかった事例	3	18	12	6	13	14	11	77
	12.5%	37.5%	23.5%	11.5%	17.8%	21.9%	23.4%	
関係機関の関与不明	0	0	5	6	17	15	4	47
	0.0%	0.0%	9.8%	11.5%	23.3%	23.4%	8.5%	

## 【概要版】

P. 2

(誤)

○虐待の種類は、身体的虐待が多く（59.2%）、3歳未満ではネグレクトが約半分を占めている。主な死因は、虐待死事例で「頭部外傷」（30.6%）、心中事例で「頸部絞扼」（33.3%）であり、これまでの報告と同様。虐待死事例では、「車中放置による熱中症・脱水」と「溺水」が増加した。

(正)

○虐待の種類は、身体的虐待が多く（59.2%）、3歳未満ではネグレクトが約半分を占めている。主な死因は、虐待死事例で「頭部外傷」（30.6%）、心中事例で「頸部絞扼」（33.3%）であり、これまでの報告と同様。虐待死事例では、「車中放置による熱中症・脱水」が増加した。